

教えの風の邪悪な目的のための、教えの風の内在的な要因

聖書：エペソ 4:13-15. 使徒 2:42. I テモテ 1:3-4.

テトス 1:9. I コリント 1:2. 4:17. 12:12-13, 27

I. 使徒たちの教えは、神の永遠のエコノミーの唯一の健康な教えです——使徒 2:42.

I テモテ 1:3-4. 6:3. テトス 1:9. 2:1 :

- A. 使徒たちの教えは、新約の教え全体であり、神が御子の中で彼の新約の民に語ったものです——ヘブル 1:1-2。
- B. 使徒たちの教えは、神の新約エコノミーの唯一の、神聖な啓示であり、それは神が肉体と成ったことから新エルサレムの究極的完成までです——ヨハネ 1:14. 啓 21:2。
- C. 使徒たちの教えは、一つ思いを保持する要因であり、わたしたちに一つの心、一つの道、一つの目標を持たせます——使徒 1:14. 2:42 前半, 46 前半. エレミヤ 32:39。
- D. わたしたちは、「使徒たちの教えにかなっている信実な言を守る」者でなければなりません——テトス 1:9 :
 - 1. 諸召会は使徒たちの教えにしたがって設立され、そして使徒たちの教えに従いました。召会の秩序は、使徒たちの教えにしたがって与えられた信実な言によって、維持されました。
 - 2. わたしたちは使徒たちの健康な教え、すなわち神のエコノミーの教えにふさわしい事柄を語らなければなりません——テトス 2:1, 7-8. I テモテ 1:4。
- E. 使徒たちは、使徒たちの教えと異なるどのような教えも許しませんでした。使徒たちは、「異なる事」を教えることを禁じました——使徒 2:42. I テモテ 1:3-4 :
 - 1. 「異なる教え」は、神のエコノミーに一致しない教えを指しています——I テモテ 6:3。
 - 2. 召会の中の無秩序はおもに、使徒たちの教えから逸脱することによって起こります——使徒 2:42 :
 - a. わたしたちはこの事に対抗するために、諸召会の中で、使徒たちの教えにしたがって教えられる信実な言を守らなければなりません——テトス 1:9。
 - b. わたしたちは暗やみの混乱した状況の中で、新約の中にある、照らし秩序を保つ言に、すなわち、使徒たちの教えを堅く持ち続ける必要があります——使徒 2:42。
 - 3. わたしたちは異なる教えを避けて、キリストと召会に関する神のエコノミーに集中しなければなりません——I テモテ 1:3-4. エペソ 3:9. 5:32。
- F. 使徒パウロは、すべての召会において同じ事を教えました。わたしたちも全地のあらゆる国のすべての召会において同じ事を教えなければなりません——I コリント 4:17. 7:17. 参照、コロサイ 4:16。
- G. 使徒の務めの健康な教えの要点は、以下の事に関するものです。すなわち、三

一の神は手順を経て、すべてを含む命を与える霊であるご自身を、彼の選ばれた者たちの中へと分与します。それは、彼らが有機的結合の中へともたらされて、神聖な注入を受け、こうして神の子たち、またキリストの肢体となるためです。その結果、彼らはキリストのからだとなって、キリスト、すなわち神の豊満が住んでいる方を表現することができます—— I コリント 15:45 後半、6:17、12:12-13, 27。

H. 使徒たちは、神の新約エコノミーの唯一の啓示と異なるすべての教えを、教えの風と考えています——エペソ 4:14。

II. わたしたちはからだの肢体として、もはや「幼子ではなく、波にもてあそばれたり、教えのあらゆる風によって吹き回されたり」すべきではありません。「この教えは、誤りの体系をもくろむこうかつな人の悪巧みです」——エペソ 4:14 :

A. 「幼子」は、キリストにあって幼い、また命における円熟に欠けている信者たちを指しています—— I コリント 3:1. エペソ 4:13, 15。

B. 異なる教え、教理、観念、意見の風によって引き起こされた波は、サタンから来たものであって、信者たちをそそのかし、彼らをキリストと召会から運び去ってしまいます—— I テモテ 1:3-4. エペソ 4:14 :

1. キリストにある赤子がこれらのものを識別するのは困難です。教えの風によって引き起こされる波から逃れる唯一の道は、命において成長することです。命において成長する安全な道は、正常な召会生活の中にとどまって、キリストと召会を保護とすることです——エペソ 4:13-15。

2. 信者たちをキリストと召会からそらす、どのような教えも、聖書的な教えでさえ、神の永遠の定められた御旨から信者たちを運び去ってしまう風です——エペソ 4:14。

C. わたしたちは、教えの風の内在的な要因を見る必要があります——エペソ 4:14 :

1. 内在的な要因は、隠れた要因であり、明白でない要因です。

2. わたしたちは、この内在的な要因を見るために、状況全体を見抜くことができる、正しい、鋭い理解力を必要とします。

3. これらの教えは、キリストのからだを建造するための神のエコノミーに関する新約の教えとは異なっています—— I テモテ 1:3-4. 6:3 :

a. あらゆる教えの風は、表面的には良いように見えます。しかしながら、教えの風の中には、内在的に、使徒たちの教えと異なっているものがあり、それは良くないものです。

b. 教えの風は、信者たちの信仰を覆し、召会生活を荒廃させてしまいます—— II テモテ 2:18。

D. 風となる教えは、キリストと召会という中心路線から信者たちを運び去ってしまいます。この教えは、サタンがこうかつに人の悪巧みを利用して、そそのかす欺きであって、キリストのからだを建造するための神の永遠のエコノミーを妨げます——エペソ 1:10. 3:9-11. 4:14, 16 :

1. 分裂させるもろもろの教えは、サタンによって組織化され、系統立てられて、

重大な誤りを引き起こし、こうして、からだの生活の実行上の一を破壊します——エペソ 4:3。

2. 悪巧みは人に属するものであり、誤りの体系はサタンに属するものであって、邪悪な者が設計した欺く教えと関係があります。この事は、キリストと召会生活から聖徒たちをそらしてしまいます——エペソ 4:14. 5:32。
- E. 教えの風の目的、すなわち敵サタンの邪悪な目的は、キリストの有機的なからだを建造することを妨げ、キリストの有機的なからだの肢体を分裂させて、愛と親切の中でキリストのからだの一を保つのではなく、果てしのない分裂を引き起こすことです—— I コリント 1:10-11. ユダ 19 節。
- F. 地方召会が絶対的に自治的なものであることに関する誤った教えが、主の回復の中へと忍び込んでしまいました：
1. 地方召会が絶対的に自治的なものであると教えることは、キリストのからだを分裂させることです——ローマ 12:5. 16:17。
 2. 自治に関する教えは、クリスチャンを腐敗させ、誤導し、欺いて、多くの分裂を引き起こしました——ユダ 19 節。
 3. 召会はキリストのからだです。キリストのからだとして、召会のどのような部分も自治的であることはできません—— I コリント 1:2. 12:12-13。
 4. 地方召会は、キリストのからだの表現のためであり、キリストのからだのさまじまな地方における現れです—— I コリント 1:2. 12:27。
 5. わたしたちは自分の考慮において、からだが第一であるべきであり、地方召会が第二であるべきです——エペソ 2:21-22。
 6. もしわたしたちが、からだを認識し、からだの感覚を持つなら、キリストの有機的なからだとしての召会は、自治と何の関係もないことを認識するようになります。